

(6) 令和2年度上期水道事業の概況

ア 建設事業の状況

既設浄水場の改修事業として、老朽化した西平井浄水場の水処理施設を更新するため、令和2、3年度の継続事業で、西平井浄水場水処理施設更新工事を実施している。また、安定した井戸取水量を確保するため、水源井設置工事を実施している。

一方、配水施設整備事業として、給水区域内の安定供給を図るため、塩化ビニル管をはじめとする老朽管の布設替工事は、西初石1丁目地先ほかで改良工事21件を実施している。また、未給水区域の解消を図るため、大字平方地先ほかで配水管拡張工事2件を実施している。さらに、つくばエクスプレス沿線整備事業2地区で配水管拡張工事3件を実施している。

イ 業務の状況

当期の給水人口は197,350人で、前年同期に比べ4,823人(2.51%)の増加があった。

給水量は9,799,376立方メートルで、前年同期に比べ583,498立方メートル(6.33%)の増となった。

なお、1日最大給水量は、58,050立方メートルを記録し、前年同期に比べ3,820立方メートル(7.04%)の増となっている。

ウ 経理の状況

上期における総収益は、2,022,338,320円(税込み)で、前年同期と比べ15,517,912円の減額となった。費用は、940,580,798円(税込み)で、前年同期に比べ1,010,754,905円の減額となった。

収益の内訳は、営業収益が1,734,189,901円で前年同期に比べ120,241,753円(7.45%)の増収となった。このほか、営業外収益は286,489,096円で、前年同期に比べ137,418,988円(32.42%)の減収となった。

次に、費用の内訳では、営業費用が867,867,563円で、前年同期に比べ505,612,042円(36.81%)の減額となった。このほか、営業外費用は71,714,336

円で、前年同期に比べ505,433,810円(87.57%)の減額となった。

税抜きによる総収益1,839,520,283円から総費用869,995,447円を差し引いた当期の損益は、969,524,836円の純利益となった。